

神戸交通振興(株)の解散について

1. 解散の理由

- ・ 駅前の魅力向上等のため、地下鉄沿線駅周辺の不動産の管理運営者を(株)OM こうべに集約することで、神戸市全体のまちづくり関連業務の一元化を推進する。
- ・ それを踏まえ、地下鉄駅ビル管理等の不動産業務を除いた場合の今後の経営見通しや民間事業者による代替性等を考慮した結果、令和3年8月に、令和3年度末での神戸交通振興(株)の全事業終了と解散を決定した。

2. 各業務の対応方針

事業内容	対応
・ 駅ビル管理等の不動産業務 (駅ビル・駅構内事業等)	・ (株)OM こうべに不動産業務を集約 ※神戸交通振興(株)所有の建物については交通局が取得
・ シティー・ループ ・ 山手線 ・ 山麓線 (市バス7系統と共同運行)	・ シティー・ループ、山手線は事業者公募の上、民間事業者にて運行 ・ 山麓線は交通局により運行
・ 地下鉄駅務業務 (西神・山手線、海岸線)	・ 事業者公募の上、民間事業者へ委託
・ 市バス車両整備業務 (車両工場、直営3営業所車庫)	・ 市バス整備部門に統合し、直営化
・ 定期券発売所 (三宮駅・新長田駅・名谷駅・神戸駅前営業所) ・ 広告事業	・ 事業者公募の上、民間事業者へ委託

(参考)

魚崎営業所管理委託業務

令和4年3月末で委託期間満了

令和3年6月の提案公募により、次期委託候補は阪急バス(株)に決定済み

3. 今後のスケジュール

- ・ 令和3年12月下旬：シティー・ループや駅務業務等の次期事業者決定
- ・ 令和4年1月上旬：広告事業の次期事業者決定
- ・ 令和4年3月31日：神戸交通振興(株)のすべての事業を終了
- ・ 令和4年4月1日：次期事業者等による業務の開始
- ・ 令和4年4月末：解散、清算開始